

第32回御幸祭を振り返って

10月18日・19日の2日間にわたり開催されました「第32回御幸祭」は、テーマに掲げた「歓喜感楽(かんきかんらく)」を体現する、まさに最高の2日間となりました。ご来場いただいた皆様、そして準備から当日まで全力を尽くした学生、すべての皆様に心より感謝申し上げます。

「歓喜感楽」—このテーマに込めたのは、「自分たちが心から楽しみ(感楽)、その楽しさが周りへと伝播し、会場全体を大きな喜び(歓喜)で満たしたい」という願いでした。準備期間は決して順風満帆ではありませんでしたが、「どうすればもっと楽しくなるか」という視点を常に持ち続け、困難すらも「感楽」の種に変えて乗り越えていきました。

今年の御幸祭は、どの企画もエネルギーに満ち溢れていました。特にステージ企画では、来場者も巻き込む「楽しさ」を追求し企画者自身が楽しんでいる様子が来場者にも伝わり、ドキドキハラハラの中でも笑顔が絶えませんでした。また、校舎の至る所に飾られた装飾や、企画・展示での学生の弾けるような笑顔は、来場されたすべての方に「感楽」を共有する機会を提供し、会場全体が一体となった祝祭空間となりました。

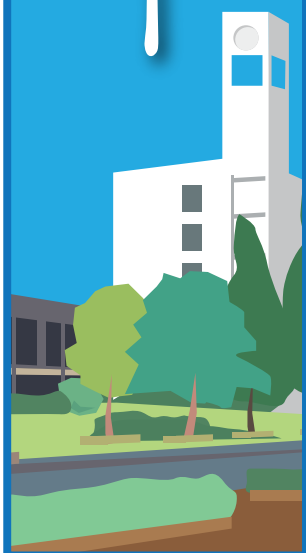
ステージでは、練習の成果と情熱が爆発し、多くの「歓喜」の瞬間が生まれました。ダンス部や軽音楽部のパフォーマンスは、見ている人が思わず体を動かしたくなるような躍動感に満ち、「歓喜」の熱狂を生み出しました。どの発表も、学生が全身で「楽しい!」を表現し、その熱量が観客の感動と呼応し合う、かけがえのない時間でした。

この成功は、運営委員会の念入りな準備と、裏方として地道な作業に徹した学生や教職員の努力があってこそです。互いの個性や情熱を尊重し合い、誰もが「自分の役割を楽しむ」という精神が、今回の「歓喜感楽」というテーマを見事に実現しました。私たちは、この二日間を通して、誰かと喜びを分かち合うこと、自分の全力を出し切ること、そして何よりも「楽しむこと」こそが、最高の成果を生み出す源泉であることを学びました。

今回の「歓喜感楽」という忘れられない体験を糧に、私たちはさらなる高みを目指して歩みを進めます。来年の御幸祭も、皆様に大きな「歓喜」をお届けできるよう、この素晴らしい経験を胸に刻み、精進してまいります。本当にありがとうございました。



第32回御幸祭運営委員会
委員長 山岡 春輝

み
ゆ
き
レ
タ
ー



2025.
10/18_{sat}・19_{sun}



経営学科 御幸祭は異なる主体的な学びの場

教授 松葉 龍一



学園祭は普段の大学生活とは異なり、文化系サークルや関連団体によるステージ発表や活動展示など、それぞれの団体が工夫を凝らし活動を行う、学生のエネルギーと活気を感じられる場です。経営学部では、学生主体による模擬店の出店と、学科の活動を紹介する展示を行いました。模擬店では、学生たちが企画を立て、価格設定や運営方法を検討・実施する過程が、授業とはまた異なる実践的な学びの場となったと考えています。

当日は多くの来学者でにぎわい、学生たちは声を張りながら笑顔で調理や接客に取り組んでいました。来学者との交流を通して、自分たちの活動を楽しんでもらえる喜びを感じていたように思います。仲間と協力しながら試行錯誤を重ね、形にしていこうと姿をそぼで見守ることができ、学生諸氏の主体性と成長を感じることができる有意義な時間でした。このような学びの機会を大切に、学生が地域や社会とつながりながら成長できるよう、引き続きサポートできればと考えています。



福祉学科 感動・協働・成長！福祉学科×地域 ー福祉の力で御幸祭を彩る

助教 松本 末信

2025年10月18日・19日、福山平成大学で開催された「御幸祭(テーマ:歓喜感)」において、福祉学科は地域の福祉事業所と連携し、感動と笑顔あふれる活動を展開しました。

開会式では、福祉学科3年・山岡春輝さん(奥田ゼミ)が実行委員長として力強く開幕を宣言。御幸太鼓の演奏が会場を盛り上げ、華やかにスタートしました。



福祉学科のブースでは、地域の障がい福祉サービス事業所と協働し、炊き込みご飯やクッキー、手作り雑貨などを販売。学生たちは元気に呼び込みや接客を行い、2日間でのべ469名が来場、19日には午前中ではほぼ完売する盛況ぶりでした。事業所からも「予想以上の反響!」と喜びの声が寄せられました。

また、高大連携プログラム「あなたにできる“いのち”の守り方～医療・福祉の視点から～」を実施。奥田亜矢先生とゼミ生が、高校生とともに「命を守るとは何か」を考える講座を行い、模擬通報体験や手紙ワークを通して防災・感染対策・相談の大切さを学びました。

地域と学生が共に学び、成長したこの2日間。福祉学科は今後も「地域とともに、学生とともに」歩みを続けてまいります。



こども学科 カラフル☆キッズワールド ～ゆめと遊びが広がる世界へ～

准教授 矢野川 祥典



「こども学科」には、のべ1500名を超える方々にご来場いただきました。ありがとうございました。1、2年生の参加学生は両日とも約100名で、各ゼミ担任と一緒に盛り上げることができました。

こども学科棟1、2、3階の各教室や庭、芝生広場にゼミ毎のブースをかまえ、製作や遊び、表現等の活動を用意し発表しました。

地域の親子がそれぞれのブースで活動を楽しむ様子が印象的でした。子ども達や親御さんに「こども学科」発表が定着し、楽しみに来校している様子が伺えました。地域に根差した学科、大学であることを強くアピールできました。

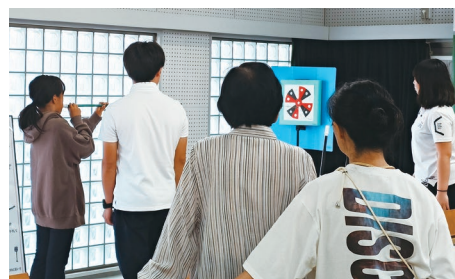
1、2年生基礎ゼミで各ブースを構え活動していますが、地域の子供達と交わることで学生が企画力、実践力がついていることを実感しました。また、挨拶や受け答え、笑顔での対応等を心がけている様子も含め、学生自身も小学校教諭や保育士・幼稚園教諭を目指す目的、動機についてあらためて確認する場になっていると感じられました。

教員も学生が成長する姿を目の当たりにし、良い意味で、学生との距離が近くなったことを実感できました。御幸祭を通して、今後、学生のより深い学びの意欲につながることが期待できます。



健康スポーツ科学科 学科ブース『体力測定』での スタッフ体験から

3年 清水 沙菜



先日開催された御幸祭で、私は健康スポーツ科学科のブースのスタッフとして主にステッピング測定のコーナーを担当しました。御幸祭での学科ブースの手伝いは、今回が初めての経験でした。

幼児から高齢者まで、年齢を問わずたくさんの方に参加していただきました。中には親子でどちらがいい記録を残せるか勝負する方、記録をさらに伸ばそうと「もう一回チャレンジしに来ました」など何回も体験する方や二日間連続で体験される方など来場した方に楽しんでもらうことができてよかったです。また、毎年健康スポーツ科学科ブースの測定を楽しみに来られる方もおられ嬉しく思いました。

ブースにはステッピング測定、握力、ビジョン、スポーツ吹き矢があり初めて体験する人が多くいたため、説明やコツをより丁寧にすることを意識しました。

体験した方に「楽しかった」「面白い」「またやりたい」などの声を聞き、体を動かす面白さ、楽しさを感じてもらえたことを嬉しく思います。二日間、あっという間に一日が終わったと思えるほど忙しく、その中で先生方や学生スタッフが上手く場を回し、明るく盛り上げ、常に一生懸命に取り組むことができ良い経験になりました。



看護学科 地域とつながる大学祭 ー学びを生かしたおもてなしー

2年 村上 揺



本学では毎年、大学祭実行委員会を中心に全学年の学生が協力して「御幸祭」を開催しています。日頃の学びを生かして、健康や防災の大切さを伝えることを目的に、学生一人ひとりが工夫を凝らし、看護学部棟の1階から3階までを使用して多彩なブースを企画しました。

1階では、血圧や骨密度を測定する「健康チェック」、災害支援を目的とした「チャリティーバザー」、アロマを使った「ハンドマッサージ体験」を行いました。

2階では、暗闇を歩く体験を通して災害時の移動の大変さを知ってもらう「暗闇からの脱出」を実施しました。

3階には、手作りの玩具で遊べる「おもちゃ王国」や、災害食の試食、包帯法を体験できる「災害コーナー」のほか、ポスター展示として「学修成果発表」「国際交流」「認知症予防」「アンネのバラ」「大学院生学修成果発表」などを紹介しました。

今年新たに取り入れたハンドマッサージでは、アロマの香りに包まれながら心が落ち着き、手の血行やリンパの流れの促進にもつながりました。来場者からは「気持ちよかった」との声をいただき、このブースを設けて本当によかったと感じました。

来場者の方々に関わる中で、看護職として相手に寄り添う姿勢の大切さを改めて実感し、「楽しかった」「学生さんが丁寧にうれしかった」といった言葉が学生にとって大きな励みとなりました。



令和7年度 公開講座報告

今年も地域の方々を対象として「公開講座」を8月28日(木)～9月25日(木)で全5回開催しました。今回のテーマは「未来を育む・支える・創り出すーこれからの社会を考えるー」で開催しました。

また、最終講座終了後に閉講式が行われ芝田委員長の挨拶の後、5講座中4講座以上受講された43名の方に「受講証書」が授与されました。



第1講
8月28日(木)

これからの「教育」の方向性を考える
最新の政策動向を中心に

こども学科 黒木 貴人 准教授

第2講
9月4日(木)

元気な今だから考えたい!これからの暮らしと医療
～人生会議(ACP)の進め方～

福祉学科 奥田 亜矢 准教授

第3講
9月11日(木)

レジリエンス(精神的回復力)を育む
ー子どもの健康問題から考えるー

健康スポーツ科学科 近藤 千穂 講師

第4講
9月18日(木)

地域包括ケアとこれから
～地域共生社会の実現に向けて～

看護学科 荒井 葉子 教授

第5講
9月25日(木)

学習リソースの1つとしての生成AI
ー学び続けるためのイマドキの手法?ー

経営学科 松葉 龍一 教授

令和7年度 サークル活動記録 2025/10/27現在

男子バレーボール部

天皇杯・皇后杯バレーボール選手権大会広島県ラウンド
7/19～20 猫田記念体育館

優勝

天皇杯・皇后杯バレーボール選手権大会中国ブロックラウンド
9/13～14 島根県立浜山公園力ミアリーナ

優勝 ※令和7年度天皇杯・皇后杯JVA全日本バレーボール選手権大会に出場 12/11～

第102回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会
10/4～10/26 広島大学 他

優勝 ※第77回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会に出場 12/1～

女子バレーボール部

第102回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会
10/4～10/26 広島大学 他

3位 ※第72回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会に出場 12/1～

軟式野球部

第29回中国地区大学軟式野球連盟秋季リーグ戦
9/7～10/5 桜が丘野球場 他

優勝 ※第47回全日本大学軟式野球選手権大会に出場 11/16～

陸上競技部

秩父宮賜杯第77回西日本学生陸上競技対校選手権大会
9/12～14 たけびしスタジアム京都

出場

第48回中国四国学生陸上競技選手権大会
10/17～10/19 高知県立春野総合運動公園陸上競技場

男子	110mH	第2位	村上 大心(健スポ2)
	10000mW	第3位	池田 健人(大学院1)
女子	800m	第2位	井上 菜名(健スポ1)
	1500m	優勝	井上 菜名(健スポ1)
	棒高跳	優勝	森迫 菜羽(健スポ2)

男子バレーボール部 女子バレーボール部

中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会で優勝し、秩父宮賜杯全日本バレーボール大学選手権大会アベック出場となりました。おめでとうございます。

ソフトテニス部

第44回全日本大学ソフトテニス王座決定戦
6/7～8 いちい信金アリーナ 他

出場

西日本学生ソフトテニス選手権大会
西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会
西日本ソフトテニスシングルス選手権大会
7/18～22 ヤマトスポーツパーク 他

出場

第75回中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会
8/18～22 松江総合運動公園テニスコート

男子団体	準優勝	女子団体	優勝
男子ダブルス	準優勝		
山根 寛人(健スポ4)・林 叶優(健スポ1)			
女子ダブルス	優勝		
柴田 真衣(健スポ4)・東脇 光希(経営3)			

令和7年度全日本学生選手権大会
8/29～9/3 千葉県総合スポーツセンター庭球場 他

出場



看護学科

ニュージーランド国際看護学研修

看護学部看護学科 教授 荒井 葉子

看護学科では、今年度より、ニュージーランドと日本における看護および少子高齢化支援の取り組みの現状を理解し、両国の制度や文化の違いを学ぶことで国際的な視野を広げることを目的に、「ニュージーランド国際看護学研修」を実施しました。

研修では、オークランド大学のMedical and Health Sciences Nursing学部と、North Shore Hospitalを訪れました。オークランド大学では、マオリの伝統的な歓迎儀式「ポフェリ」を体験し、先住民文化への理解と共生の姿勢が教育環境に自然に組み込まれていることに深い感銘を受けました。日本では看護の対象が「日本人中心」というイメージが根強くありますが、今後は異文化理解や多様性への対応がますます重要になります。このような視点は、グローバルな看護実践に向けた貴重な学びとなりました。

NORTH SHORE HOSPITAL病院救急科(Emergency Department)を見学し、急性期医療におけるトリアージ看護師の役割を学び、看護師が主体的に判断・介入することで、急性期患者さんへの対応が円滑に進む体制の重要性を認識しました。また、病院内には教会やフィーリングルームなど、患者さんの癒しとなる環境が整えられており、スピリチュアルケアを大切にしていることがうかがえました。終末期の患者さんご家族が過ごす専用の部屋もあり、亡くなられる方が穏やかに生活できるよう配慮された環境が整っています。患者さんの価値観や信仰を尊重する姿勢が医療現場に深く根付いていることを実感し、患者さん一人ひとりの背景や価値観に寄り添うケアの在り方について、改めて考えさせられる機会となりました。



ニュージーランド到着の時



ノースショア病院 Tōtara Haumarū

「トタラの木陰」という意味を持ちます。かつて旧館のそばに生えていたトタラの木の守るような枝ぶりに敬意を表して名付けられました。



オークランド大学での歓迎式後



大学にキッチンカーがやってきました。
ハンバーガーやクレープなど、バラエティ豊かなメニューが並び、
お昼時には多くの学生や教職員でにぎわいました。
手軽に美味しい食事が楽しめるかと好評です。次回の出店もお楽しみに！

大 学 行 事 日 程

2025年12月

13(土) 公募推薦型選抜B日程
21(日) 冬季休業開始・後期集中講義開始
26(金) 仕事納め

2026年2月

4(水)～14(土) 後期定期試験
20(金) 一般選抜前期B日程

2026年1月

5(月) 仕事始め
7(水) 冬期休業終了
8(木) 授業開始
16(金) 大学入学共通テスト会場準備
17(土)・18(日) 大学入学共通テスト
30(金) 後期授業終了
31(土)～2/3(火) 一般選抜前期A日程

2026年3月

1(日) 春季休業開始
7(土) 一般選抜後期日程
14(土) オープンキャンパス
21(土) 学位記授与式(卒業式)

令和8(2026)年度入学者選抜日程

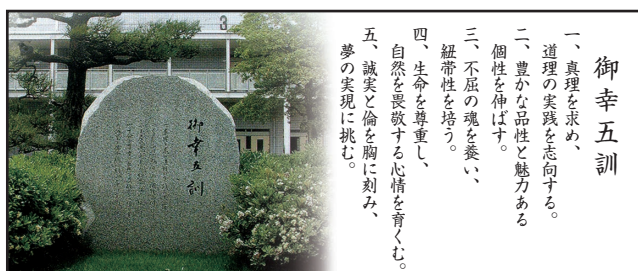
◇一般選抜

種別	試験日	学部	出願期間	合格発表日	入学手続完了日
前期A日程	1月31日(土)～2月3日(火)	全学部	1月 5日(月)～1月24日(土)	2月 7日(土)	2月19日(木)
前期B日程	2月20日(金)	全学部	2月 4日(水)～2月16日(月)	2月26日(木)	3月 6日(金)
後期日程	3月 7日(土)	全学部	2月24日(火)～3月 3日(火)	3月11日(水)	3月25日(水)

◇大学入学共通テスト利用選抜

種別	試験日	学部	出願期間	合格発表日	入学手続完了日
前期	個別学力試験は課さない	全学部	1月 5日(月)～1月24日(土)	2月 7日(土)	2月19日(木)
後期		全学部	2月24日(火)～3月 3日(火)	3月11日(水)	3月25日(水)

※大学入学共通テスト 1月17・18日(土・日)



御幸五訓

一、真理を求め、
道理の実践を志向する。
二、豊かな品性と魅力ある
個性を伸ばす。
三、不屈の魂を養い、
継続性を培う。
四、生命を尊重し、
自然を畏敬する心情を育む。
五、誠実と倫を胸に刻み、
夢の実現に挑む。

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2025年12月20日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp>